

# ムカゴトラノオ

*Bistorta vivipara* (L.) Delarbre  
タデ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地、個体数とも少ない。今のところ1山域で確認されているだけである。

## 分 布

北海道、本州（中部地方以北）に分布する。県内では奥越地方で確認される。

## 種の特徴

高山帯に生える多年生草本。茎は直立し、枝を分けず、高さ5～30 cmになる。根出葉は長い柄があり、広楕円形～披針形、表面は光沢があり、裏面は粉白色を帯びる。花期は6～9月。花序は細長く、長さ2～10 cm、下部の花はムカゴとなる。

## 生育を脅かす要因

産地局限、自然遷移、温暖化の進行等が生育を脅かす要因となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市	
																	○	

# ハマナデシコ

*Dianthus japonicus* Thunb.  
ナデシコ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

太平洋側が本種の分布の中心であり、日本海側では生育地が限られ個体数も少ない。

## 分 布

本州～琉球に分布。県内ではおおい町、敦賀市、越前町、福井市での記録がある。

## 種の特徴

海岸の岩場や砂浜に生える多年草。茎は株状で高さ15～50 cm、下部は木質化し斜上し、上部は直立する。葉は厚く光沢があり、葉縁は有毛、長卵形～長楕円状披針形。6～11月、花は頂生し集散花序となる。花弁は紅紫色で径約1.5 cm。

## 生育を脅かす要因

海岸開発、園芸採取。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○				○	○										○

# ワチガイソウ

*Pseudostellaria heterantha* (Maxim.) Pax  
ナデシコ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

産地局限。

## 分 布

本州（福島県以南）～九州に分布。県内では池田町、大野市での記録がある。

## 種の特徴

山地の落葉広葉樹林などの湿った環境に生える多年草。根は太く肥大する。茎は高さ8～15 cm、直立し下部で分枝する。葉は対生、卵状披針形～倒披針形、基部は細くなって葉柄となる。茎頂や葉腋から細い花柄を伸ばし、白色の5枚の花弁を星形につける。

## 生育を脅かす要因

森林伐採、踏圧。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○							○	